記入例

韮崎市で初めて申告される方、増加した資産のある方
及び新しく事業を始められた方の種類別明細書（増加資産・全資産用）の記入方法（第26号様式別表1（緑））

○各項の（ 1 ～ 13 ）について記入してください。

令和 7 年度

種類別明細書（増加資産・全資産用）

1

※所有者コード※	所有者名	
1000001	2 韮崎 株式会社	3 1 枚のうち 1 枚目

行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	7 数量	取得年月 年号	年	月	取得価額（イ）	耐用年数	（ロ）償却残存率	価額（ハ）	※課税標準の特例率	※課税標準額	増加事由	摘要
01	1	00302	駐車場アスファルト舗装	1	4	30	06	2 300 000	10	0.				1 2 3. 4	
02	2	00303	オフセット印刷機	1	4	30	03	6 000 275	10	0.				1 2 3. 4	
03	6	00304	ルームエアコン	3	4	30	06	600 000	06	0.				1 2 3. 4	
04	6		パソコン	2	5	06	10	320 000	04	0.				1. 2 3. 4	令和6年10月塩部店（甲府市）より受入
05	6		テレビ	1	5	05	11	280 500	05	0.				1 2 3. 4	令和 6 年 申告漏れ
06	6		応接セット	1	5	06	12	1 000 000	08	0.				1 2 3. 4	1月1日 取得資産
07										0.				1. 2 3. 4	
08										0.				1. 2 3. 4	
09										0.				1. 2 3. 4	
10														1. 2 3. 4	
11														1. 2 3. 4	
12														1. 2 3. 4	
13														1. 2 3. 4	
14														1. 2 3. 4	
15														1. 2 3. 4	
16														1. 2 3. 4	
17														1. 2 3. 4	
18														1. 2 3. 4	
19										0.				1. 2 3. 4	
20										0.				1. 2 3. 4	
			小計					10 500 775							

※電算処理方式により申告される方以外は記入しないでください。

1月1日に取得した資産は、その前年の12月を取得年月日としてください。

【耐用年数】
法人税及び所得税における耐用年数を記入してくださ

【資産の名称等】
資産の名称は20字以内で記入してください。20字以上の場合は簡略化してください。

【資産の種類】
以下の数字で記入してください。
１：構築物（建物附属設備含む）
２：機械及び装置
３：船舶
４：航空機
５：車両及び運搬具
６：工具、器具及び備品

【資産コード】
申告書に同封されている「償却資産細目一覧表」の「資産番号」を記入してください。
前年中に取得した資産の分は記入しないでください。

【取得年月】
３：昭和
４：平成
５：令和
（例）令和 6 年6月の場合は「50606」となります。

【取得価格】
当該資産の取得価格を記入してください。
ただし、圧縮記帳は固定資産税の評価上、認められておりませんので、圧縮記帳を含めた取得価格を記入してください。

【増加理由】
該当する増加理由を○で囲んでください。
１：新品取得
２：中古品取得
３：移動による受け入れ
４：その他

３の場合、摘要欄に移動前の所在地を記入してください。
４の場合、摘要欄に理由を記入してください。

【摘要】
課税標準の特例が適用される資産・短縮耐用年数を適用している資産・増加償却を行っている資産については、その旨を表示してください。資産の価格の決定について必要な事項がある場合や資産が増加した事由について特記すべき事項がある場合は、その旨を表示してください。

注意　「増加事由」の欄は、1新品取得、 2中古品取得、 3移動による受け入れ、 4その他のいずれかに○印を付けてください。